

NEXT あびこ

人口減少、超高齢社会、厳しい財政状況を見据えて

プロジェクト

スリムな行政
豊かな公共



内田 みえこ

I. 未来にツケをまわさない

1. 財政規律の確立
2. 人件費の削減
3. 公共の担い手づくり
4. 公共施設の更新問題への取組み
5. 我孫子版「ちばレポ」
6. “市民判定人方式”の事業仕分けの導入

II. 超高齢社会への対応

1. 地域包括ケアシステムの構築
2. 地域コミュニティの活性化
3. 「地域の便利屋」の創設
4. 移動スーパーの運行
5. あびバス・民間の送迎バス利用の拡充

III. 未来への投資

1. 子育て支援
2. 地産・地消の太陽光発電の推進
3. 手賀沼を活かしたまちづくりNEXT
4. 放射能から子どもを守る
5. 女性の活躍を応援

IV. フォーラムとしての議会へ

1. 議会報告会&意見交換会の開催
2. 議員間討議の実施
3. 通年議会の検討
4. 参考人制度、公聴会制度の活用促進
5. 委員会の出前の実施

V. これからの議員

1. 暮らしの現場の課題を政策提言
2. 地域のコーディネーター

.....内田みえこのプロフィール.....

1950年 静岡県榛原郡金谷町（現島田市）に生まれる。静岡大学付属中学校、
県立掛川西高等学校、昭和女子大学英米文学科卒業後、現三井住友銀行で
外国為替業務に従事。

2003年 我孫子市議会議員に初当選 現在3期目

10年後を見据えた重点施策

人口減少・超高齢社会 → 厳しい財政状況

2025年の我孫子市の予測

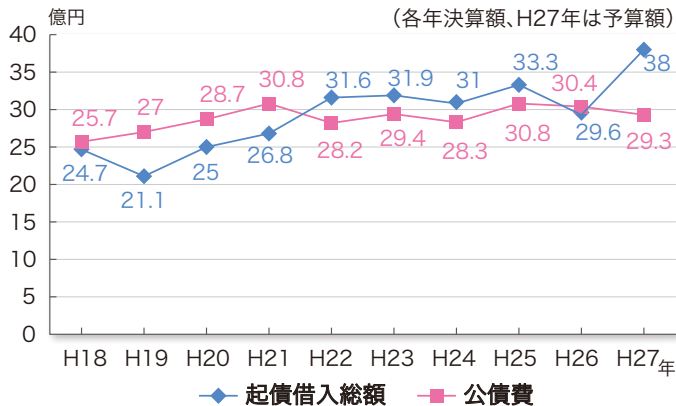
- 総人口は約1万人、生産年齢人口は約8千人、年少人口は約5千人減少、高齢者人口は約3千人増加し高齢化率は32.3%
- 後期高齢者（75歳以上）は約1万人増加し市民の5人に1人
- 市税等が減少する中、医療・介護費は爆発的に増加

I. 未来にツケをまわさない

■財政規律の確立

市税等が減少する中で、借金は次世代にツケをまわすことになりかねません。借金を増やさないために、年度ごとに借金をする額(起債借入総額)を返済する額(公債費)以下にする財政規律を確立します。

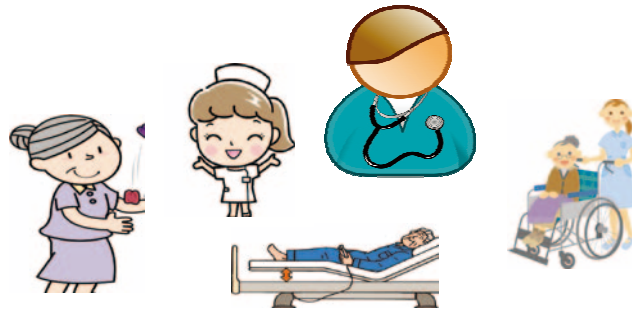
起債借入総額と公債費の推移



■市民判定人方式の事業仕分けの導入

厳しい財政状況の中、「あれか これか」の選択の時代、税金の使途を市民が決める仕組みの導入。

II. 超高齢社会への対応



■地域包括ケアシステムの構築

団塊の世代が全員75歳以上になり医療や介護ニーズが爆発的に増大する「2025年問題」への対応は待ったなしです。

現在でも特別養護老人ホームの待機者は400人を超えており、後期高齢者が1万人増加する10年後には介護や医療施設は確実に不足します。しかし従事者不足や財政的な問題等で施設整備にも難しさがあります。また、介護が必要になっても自宅での生活を希望する人が増えています。いつまでも住みなれた地域で安心して住み続けられるように、医療・介護・予防・生活支援サービス等が切れ目なく提供される「地域包括ケアシステムの構築」に取り組みます。

III. 未来への投資

■子育て支援

保育園の待機児童0を続けるとともに保育の質の向上と希望する地域の保育施設への入園を可能にします。

■子どもの貧困対策

子どもの6人に1人が貧困だと言われています。貧困の連鎖を断ち切るために生活困窮者世帯の子どもへの学習支援等を実施します。

■放射能から子どもを守る

初期被ばくによる甲状腺疾患の不安を解消するため、甲状腺エコー検査費用の一部助成を実現します。

■地産・地消の太陽光発電の推進

- ・地球温暖化防止、
- ・安全・安心なエネルギー社会の構築、
- ・環境モデル都市の実現、
- ・地域の活性化のために推進します。



「あびこの風」No.55 特集号

発行 「内田みえこと我孫子をデザインする市民ネット」
〒270-1108 我孫子市布佐平和台2-18-10
TEL. 04-7186-7800 (事務所)
e-mail : mieko50@jcom.home.ne.jp

活動 ○根戸小PTA会長 ○布佐南小学級委員連絡協議会副会長
履歴 ○布佐平和台子供会会長 ○国際交流協会日本語講師
○我孫子市行政改革市民推進委員会委員長

所属 ○あびこ女性会議 ○我孫子市国際交流協会 ○消費者の会
団体 ○エコライフあびこ ○あびこガイドクラブ
○地産・地消推進協議会 ○FFC
○「がんばろう、日本！」国民協議会同人